

資料 1

- (1) 北勢線の現状報告について

桑名市議会

全員協議会資料

北勢線の現状報告について

経済環境部

平成24年4月16日

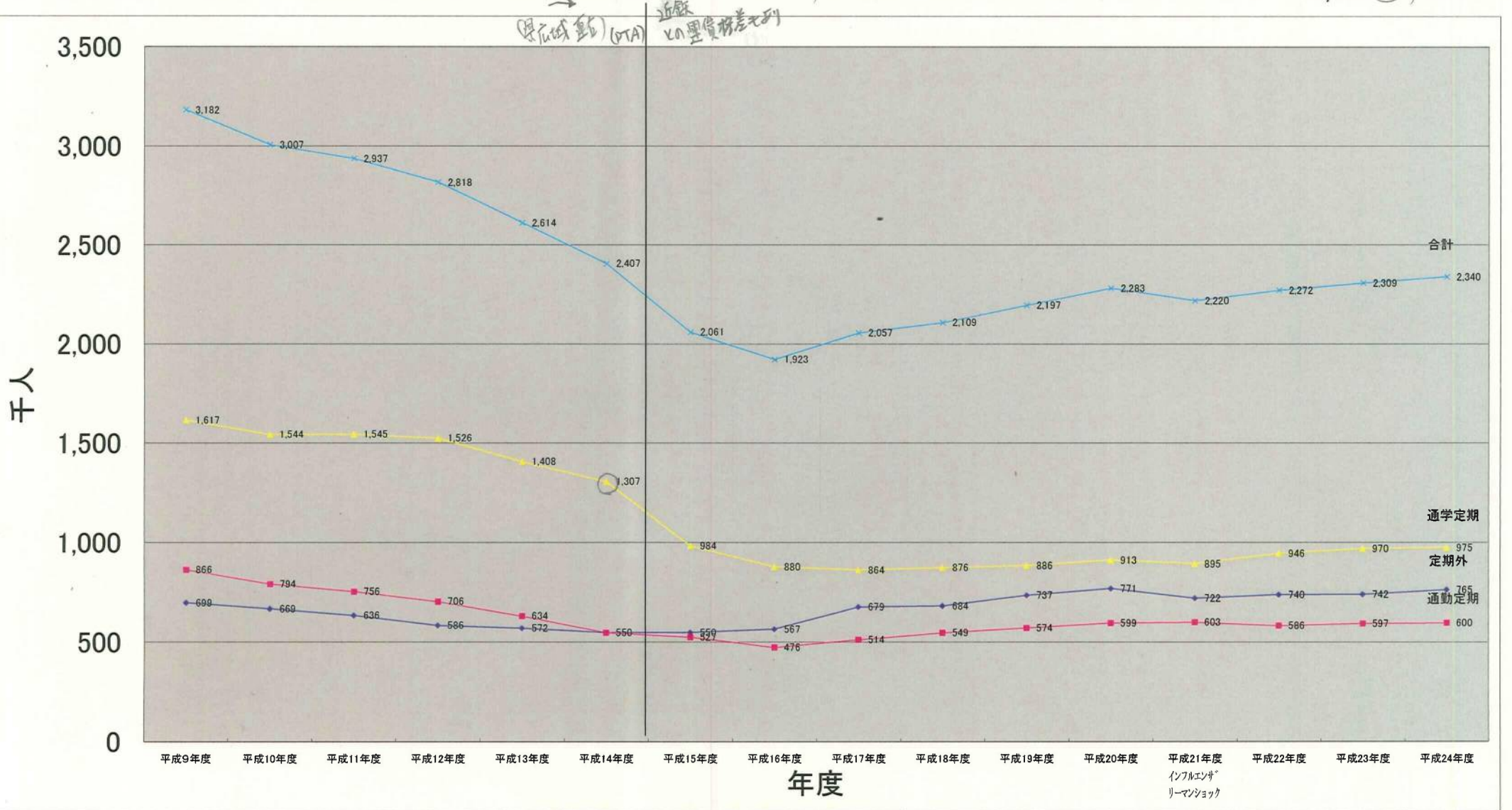
目 次

1. 輸送人員の推移	1
2. リニューアル投資計画	2
3. 北勢線の営業収支の推移・サービス概況等	3
4. 北勢線費用構造の変化と問題点	4
5. 再生計画の主なもの	5
6. 北勢線輸送人員・営業収支想定（25年度～29年度）	6

輸送人員の推移

単位：千人

		近畿日本鉄道株式会社						三岐鉄道株式会社									
		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人員	定期外	699	669	636	586	572	550	550	567	679	684	737	771	722	740	742	765
	通勤	866	794	756	706	634	550	527	476	514	549	574	599	603	586	597	600
	通学	1,617	1,544	1,545	1,526	1,408	1,307	984	880	864	876	886	913	895	946	970	975
	合計	3,182	3,007	2,937	2,818	2,614	2,407	2,061	1,923	2,057	2,109	2,197	2,283	2,220	2,272	2,309	2,340



リニューアル投資計画

単位：千円

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
リニューアル事業費	建物	37,482	128,858	92,646	52,300	3,250	17,364	518	0	0	0
	構築物	159,068	384,200	58,078	95,111	50,787	7,950	39,275	0	0	0
	車輛	22,640	0	7,032	82,709	29,904	38,695	33,320	0	0	0
	機械装置	128,847	123,016	166,690	51,150	17,476	10,790	12,846	0	0	0
	工具器具備品等	11,307	929	7,845	1,478	304	589	6,760	655	0	0
	三岐鉄道 計	359,344	637,003	332,291	282,748	101,721	75,388	92,719	655	0	0
	高速化（三セク）	0	409,716	442,742	431,552	433,488	161,415				
	乗継円滑化（三セク）	0	0	0	14,117	0	0				
	三セク 計	0	409,716	442,742	445,669	433,488	161,415	0	0	0	0
リニューアル事業費 計	359,344	1,046,719	775,033	728,417	535,209	236,803	92,719	655	0	0	
リニューアル事業費 累計	359,344	1,406,063	2,181,096	2,909,513	3,444,722	3,681,525	3,774,244	3,774,899	3,774,899	3,774,899	

当初リニューアル	大泉・阿下喜	馬道・西別所・東員	蓮花寺・星川・穴太	西桑名延伸	変電所出力増強	き電線増強	
		七和・在良	麻生田				
			CTC装置改良	部分的なレール更换・電路柱強化・曲線改良・橋梁改修			
		自動化システム					
変更後のリニューアル	3/31六石・大泉東・長官駅廃止	4/1大泉駅新築	7/1大泉駅離合駅	12/1阿下喜駅移転新築	12/25蓮花寺駅仮オープン	12/1蓮花寺駅移転新築	2/10星川駅前P&R整備
		3/25西別所駅新築	9/1穴太駅移転新築	12/27在良駅新築			3/15東員P&R増設整備
		3/26東員・星川駅新築	9/1馬道・七和駅改修		3/25 阿下喜駅前整備		
		3/26六把野・北大社・坂井橋駅廃止	3/1阿下喜2線化				
			3/31上笠田駅廃止				
			自動化システム				
		電路柱強化	電路柱強化	電路柱強化		藤川橋梁改修(東員～穴太)	
		踏切制御回路変更	踏切制御回路変更	踏切制御回路変更	き電線増強	北大社変電所出力増強	
		CTC装置新設	北大社駅構内曲線改良	旧上笠田駅曲線改良	旧坂井橋駅曲線改良	旧蓮花寺駅曲線改良	
			旧大泉東駅曲線改良				
		各駅区間内軌道強化	各駅区間内軌道強化	各駅区間内軌道強化	各駅区間内軌道強化	各駅区間内軌道強化	各駅区間内軌道強化
				冷房車1編成3両	冷房車1編成3両	冷房車1編成4両	冷房車1編成4両
				冷房車1編成3両	(1両非冷房)	(1両非冷房)	(1両非冷房)
		車両高速化	車両高速化	車両高速化	車両高速化		

北勢線の営業収支の推移・サービス概況等

見込

1) 営業収支

単位：千円

		近畿日本鉄道株式会社						三岐鉄道株式会社									
		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
営業収入	定期外	149百万	143,717	137,766	126,539	124,092	118,202	124,053	130,549	153,968	159,214	171,799	177,663	167,174	170,709	172,000	178,000
	通勤定期	76百万	68百万	64百万	59,208	53,058	45,705	56,005	53,294	60,373	64,125	67,792	71,312	73,377	71,708	73,000	74,000
	通学定期	74百万	139,600 72百万	134,518 71百万	71,121	65,726	61,464	100,380	97,841	97,567	97,526	99,384	101,867	100,431	105,796	108,000	109,000
	小計	298,613	283,317	272,314	256,868	242,876	225,371	280,438	281,684	311,908	320,865	338,975	350,842	340,982	348,213	353,000	361,000
	荷物	675	666	657	661	646	641	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運輸雑収等	23,430	23,537	16,962	16,658	16,222	28,696	2,554	4,404	8,280	8,429	8,061	8,260	6,297	6,953	8,000	8,500
計(イ)	322,718	307,520	289,933	274,187	259,744	254,708	282,992	286,088	320,188	329,294	347,036	359,102	347,279	355,166	361,000	369,500	
営業費用	人件費	725,203	727,037	630,531	580,202	542,000	566,058	438,930	464,474	444,261	399,891	357,988	377,475	357,207	302,952	268,600	247,000
	修繕費	88,549	79,104	50,010	54,863	65,214	78,517	242,488	170,832	140,580	148,120	159,906	156,764	134,149	122,436	141,000	167,000
	経費	119,001	108,981	89,916	94,852	90,957	86,825	81,550	65,588	64,677	71,356	81,827	88,911	84,615	70,398	74,500	72,400
	諸税	40,695	38,787	40,834	39,494	38,653	38,399	1,666	2,527	14,473	19,317	28,762	32,485	35,947	43,207	42,600	42,600
	減価償却費	64,859	60,994	62,220	53,440	47,435	47,290	5,496	25,703	70,441	93,374	120,010	126,963	142,444	136,366	135,200	127,600
	関連費分担額	92,124	92,228	77,872	92,322	90,973	27,842	52,448	46,684	44,065	40,014	42,235	39,775	36,426	36,911	31,600	31,000
計(ロ)	1,130,431	1,107,131	951,383	915,173	875,232	844,931	822,578	775,808	778,497	772,072	790,728	822,373	790,788	712,270	693,500	687,600	
営業損益	-807,713	-799,611	-661,450	-640,986	-615,488	-590,223	-539,586	-489,720	-458,309	-442,778	-443,692	-463,271	-443,509	-357,104	-332,500	-318,100	
営業外益	受取利息	707	817	318	489	224	49	1	0	0	0	0	0	4	4	0	0
	雑収入	1,772	799	1,666	3,223	2,797	538	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,479	1,616	1,984	3,712	3,021	587	1	0	0	0	0	0	4	4	0	0	
営業外用	支払利息	61,315	57,521	54,897	50,846	47,385	23,787	0	4,434	12,222	19,549	24,637	26,477	30,072	26,593	24,500	23,500
	雑支出	8,093	5,476	6,013	5,370	6,489	8,363	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	69,408	62,997	60,910	56,216	53,874	32,150	0	4,434	12,222	19,549	24,637	26,477	30,072	26,593	24,500	23,500	
経常損益	-874,642	-860,992	-720,376	-693,490	-666,341	-621,786	-539,585	-494,154	-470,531	-462,327	-468,329	-489,748	-473,577	-383,693	-357,000	-341,600	
経常損益累計							-539,585	-1,033,739	-1,504,270	-1,966,597	-2,434,926	-2,924,674	-3,398,251	-3,781,944	-4,138,944	-4,480,544	

営業係数(ロ÷イ×100) 350 360 328 334 337 332 291 271 243 234 228 229 228 201 192 186

※営業係数とは100円の収入を得るのにかかる営業費用

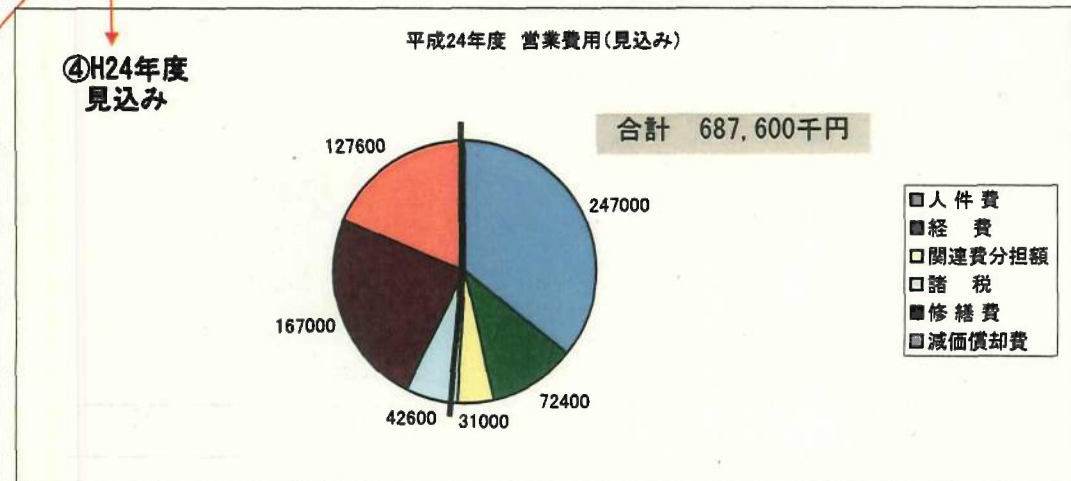
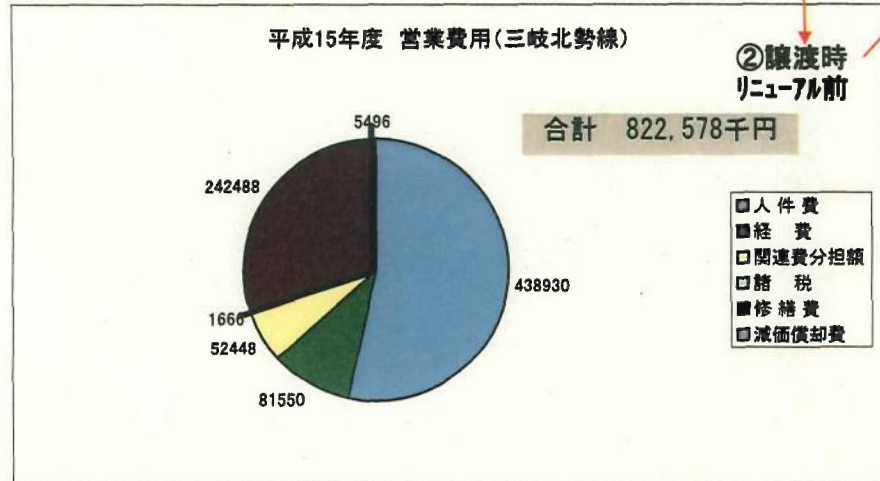
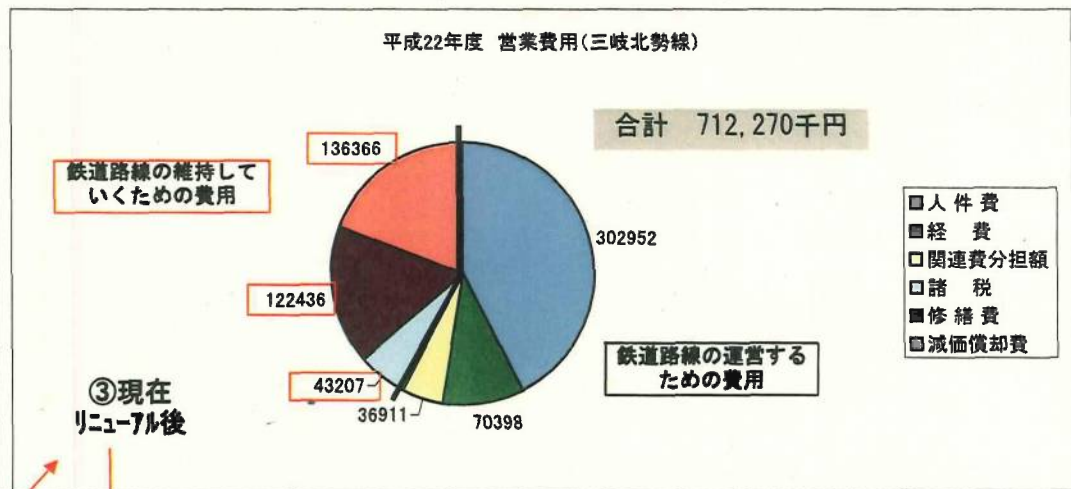
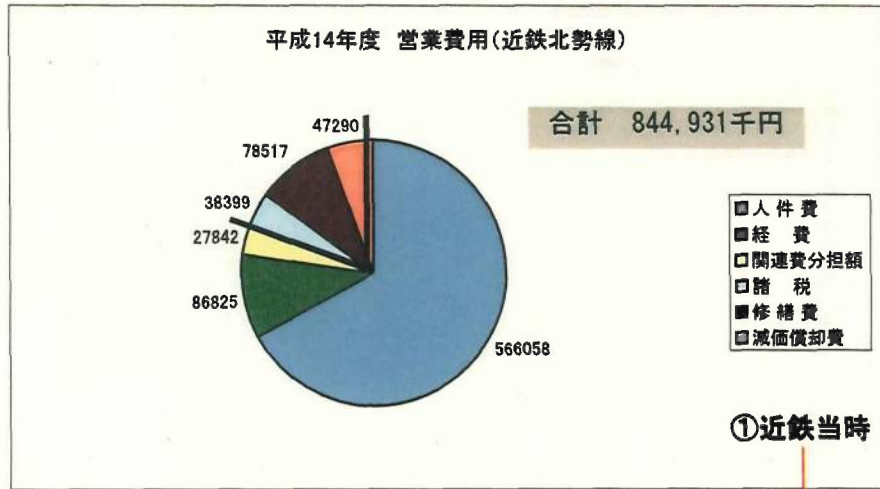
2) サービス概況等

北勢線社員数 (出向含、管理部門・契約除く)		約99人 運67、施22、車10	約94人 運62、施22、車10	約86人 運54、施22、車10	約86人 運54、施22、車10	約86人 運54、施22、車10	約77~86人 運54施17~22車6~10	61人 運48、施9、車4	60人 運46、施10、車4	57人 運42、施11、車4	51人 運38、施9、車4	50人 運37、施9、車4	52人 運39、施9、車4	56人 運43、施9、車4	44人 運33、施7、車4	38人 運27、施7、車4	38人 運27、施7、車4	
社員配置駅		桑・馬・七・豊・北・阿	桑・馬・七・北・豊	西桑名、北大社、楚原				西桑名、東員										
定期券発売駅		西桑名のみ(北大社と楚原は予約発売駅)						西桑、北大社、楚原			西桑名、星川、東員、楚原、阿下喜							
駅数		17駅						15駅			14駅		13駅					
本数	西桑名-東員	90本	84本	84本				86本	92本	92本	90本		90本				90本	
	西桑名-楚原	61本	39本	37本				44本	72本	82本	83本		83本				82本	
	西桑名-阿下喜	50本	37本	35本				43本	47本	47本	61本		56本				54本	
最終 阿下喜行き	西桑名発 22:00	西桑名発 21:30									西桑名発 23:00				西桑名発 23:05			

4部11課
に変更

JR 近鉄 YAZ-FAN

北勢線費用構造の変化と問題点



人件費は大幅に削減しているものの、もともと廃線を見込んでいた路線であったため、鉄道設備の老朽化が激しく更新や点検整備費用となる修繕費が増加している。さらに近代化・高速化工事等のリニューアル投資により設備を更新したことにより、新たに資産取得となり、減価償却費や諸税（ほとんどが固定資産税）も増加している。これらについては当初は予定していなかったものであり、路線を安全・安定的に維持していくための経常的費用であり、経営努力による削減が難しく営業収支を圧迫させている。

三岐鉄道北勢線再生計画の主なもの



P & R 整備

無料駐車場整備
0 駅 → **9 駅**
(512台)

無料駐輪場整備
12 駅

主要 無料駐車駐輪場

 阿下喜駅 駐車台数: 21台 駐輪台数: 36台	 麻生田駅 駐車台数: 26台 駐輪台数: 40台	 楚原駅 駐車台数: 26台 駐輪台数: 56台	 大泉駅 駐車台数: 146台 駐輪台数: 84台	 東員駅 駐車台数: 124台 駐輪台数: 144台
 穴太駅 駐車台数: 62台 駐輪台数: 90台	 星川駅 駐車台数: 68台 駐輪台数: 156台	 在良駅 駐車台数: 7台 駐輪台数: 53台	 蓮花寺駅 駐車台数: 31台 駐輪台数: 44台	

総駐車台数: 512台
総駐輪台数: 893台

時間短縮・増発

車両の改良

冷房化、高速化改造

駅舎整備

全駅を新築または改良 → 待合室・トイレを充実
無人駅自動化

長島
至名古屋

北勢線輸送人員・営業収支想定(25年度～29年度)

H23.10.3

単位：人・千円

通常…5年間における年度別経常的運行維持費用

経営改善…費用上限値を決め経常的運行維持費用から、さらに効率・合理化・削減を行う改善目標額。

	10年間平均	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		
		通常	経営改善	通常	経営改善	通常	経営改善	通常	経営改善	通常	経営改善	
輸 送 人 員	定期外	695,549	717,300	717,300	717,300	717,300	717,300	717,300	717,300	717,300	717,300	
	通勤定期	562,355	585,700	585,700	585,700	585,700	585,700	585,700	585,700	585,700	585,700	
	通学定期	919,148	965,900	965,900	965,900	965,900	965,900	965,900	965,900	965,900	965,900	
	利用促進			12,301	12,301		12,301		12,301		12,301	
	乗継円滑化				51,120		51,120		51,120		51,120	
	運賃改正											
計	2,177,052	2,268,900	2,281,201	2,268,900	2,332,321	2,268,900	2,332,321	2,268,900	2,332,321	2,268,900	2,332,321	
営 業 収 支	定期外	160,513	162,547	162,547	162,547	162,547	162,547	162,547	162,547	162,547	162,547	
	通勤定期	66,498	73,774	73,774	73,774	73,774	73,774	73,774	73,774	73,774	73,774	
	通学定期	101,779	107,655	107,655	107,655	107,655	107,655	107,655	107,655	107,655	107,655	
	運輸雑収	6,974	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	
	利用促進			2,347	2,347		2,347		2,347		2,347	
	乗継円滑化				6,040		6,040		6,040		6,040	
	運賃改正											
	収入計	335,764	352,476	354,823	352,476	360,863	352,476	360,863	352,476	360,863	352,476	360,863
	人件費	367,278	254,000	230,000	256,000	230,000	258,000	230,000	252,000	230,000	250,000	230,000
	輸送管理人件費	279,130	195,500	177,000	197,000	177,000	198,500	177,000	194,000	177,000	193,000	177,000
	技術現業人件費	88,148	58,500	53,000	59,000	53,000	59,500	53,000	58,000	53,000	57,000	53,000
	修繕費	155,605	151,050	140,000	135,250	133,550	113,250	111,550	151,250	140,000	135,250	133,550
	線路保存費	56,289	38,200	35,000	38,200	37,000	38,200	37,000	38,200	35,000	38,200	37,000
	電路保存費	37,703	37,050	35,000	37,050	36,550	37,050	36,550	37,050	35,000	37,050	36,550
	車両保存費	61,613	75,800	70,000	60,000	60,000	38,000	38,000	76,000	70,000	60,000	60,000
	経費	77,315	77,200	70,000	77,200	70,000	77,200	70,000	77,200	70,000	77,200	70,000
	一般管理費	40,776	33,000	30,000	33,000	30,000	33,000	30,000	33,000	30,000	33,000	30,000
その他諸税	2,273	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
固定資産税	23,772	37,200	37,200	35,400	35,400	33,600	33,600	31,800	31,800	30,000	30,000	
減価償却費	97,880	130,000	125,000	130,000	125,000	130,000	125,000	130,000	125,000	130,000	125,000	
支払利息	18,547	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	
費用計	783,446	707,050	656,800	691,450	648,550	669,650	624,750	699,850	651,400	680,050	643,150	
経常損益	-447,682	-354,574	-301,977	-338,974	-287,687	-317,174	-263,887	-347,374	-290,537	-327,574	-282,287	

固定資産減免

37,200

35,400

33,600

31,800

30,000

※ 支援要請額

221,500

218,275

207,275

221,500

218,275

差引損益

-43,277

-34,012

-23,012

-37,237

-34,012

※ 支援要請額(技術現業人件費+修繕費)×50%+減価償却費

資料 2

(2) 桑名市上下水道事業経営計画について

桑名市上下水道事業経営計画の要点

平成24年4月16日全員協議会資料

計画期間		平成24年4月～平成34年3月（10ヶ年）								
主旨		(P.1)	上下水道事業の経営上の課題を抽出・分析して改善することを目的とし、健全な企業運営と計画的な事業推進に資する							
項目			水道事業				下水道事業			
現状と課題	現状	(P.1～P.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・水需要の減少に伴う料金収入の減少 ・増加傾向であった給水区域内人口の減少 				<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用量減少に伴う使用料収入の減少 			
	課題	(P.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の経年劣化による維持管理費の増大 ・事業体統合による配水区域の再編と適切な施設配置 ・緊急時にも対応できる多様な水源を活用した施設のネットワーク化 ・想定される東南海地震等巨大地震に対応した耐震化の推進と緊急時の備え ・健全な企業経営の維持 				<ul style="list-style-type: none"> ・健全な企業経営体制の確立 ・水洗化率の向上 ・想定される東南海地震等巨大地震に対応した耐震化の推進と緊急時の備え ・施設の経年劣化による維持管理費の増大 ・深刻化する豪雨対策と浸水被害の軽減 			
基本方針		(P.5～P.7)	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業の意義、提供するサービス自体の必要性（都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、生活基盤を維持する） ② 公営企業として実施する必要性に関する事項（水道事業、下水道事業とも地方財政法上の公営企業として経営） ③ 組織、定員及び給与に関する事項（効率的な組織の整備と定員管理の推進、給与の適正化） ④ 投資に関する事項（需要に見合った施設の再編整備と公共水域の水質改善） ⑤ 料金その他の収入に関する事項（長期的財政計画による料金体系の検討と継続的な経費の縮減） ⑥ 一般会計からの繰出金に関する事項（健全経営による繰出金の適正化） ⑦ 経営基盤の強化に関する事項（専門職員の育成や民間活力の導入検討） ⑧ 収支改善に関する事項（適正な料金体系の検討や資本的支出の削減 料金体系強化) ⑨ 情報公開に関する事項（経営情報、料金水準などわかりやすく公開） ⑩ その他の重要事項（危機管理、情報管理体制の整備や事故、災害に対応できる体制の整備） 							
事業収支見込	年度（4年毎に見直し）		平成24年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	平成24年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
	有収・処理水量（m ³ /日）		47,883	47,083	45,441	44,271	31,607	31,512	31,816	31,796
	総収益（千円）		1,916,200	1,984,800	1,918,400	1,871,100	3,126,400	3,210,800	3,425,300	3,324,200
	総費用（千円）		1,969,031	1,949,004	1,865,852	1,792,619	3,302,163	3,314,206	3,172,118	3,016,765
	経常損益（千円）	(P.8～P.15)	△52,831	－	5,004	78,481	△175,763	△103,406	－	307,435
	累積赤字（千円）		102,014	154,845	－	－	254,620	430,383	596,473	－
	従量料金（円/m ³ ）		105	110.87	－	－	126.21	142.62	159.73	－
改定率（%）		－	5.5	－	－	－	13.0	12.0	－	
今後の10年	(P.9)		<ul style="list-style-type: none"> ・料金の改定と職員数の削減により財源を確保する ・職務分析による合理化と民間委託の利活用 ・未収金対策の継続的な推進 ・広域的な防災・減災対策の検討と実施 ⇒ 具体的には(ネット7)水源の確保 ・水道事業基本計画との連携 							

* () 内の数字は「桑名市上下水道事業経営計画」の該当頁